

平成30年度

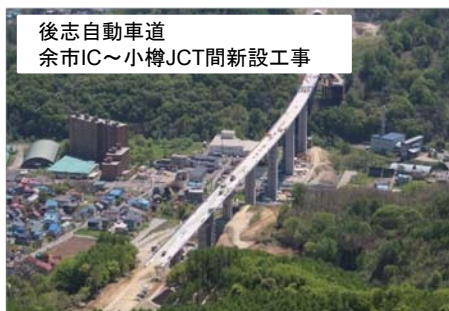
土木学会全国大会 見学会

参加者募集

in Hokkaido

I. 半日コース ～かつて、最新技術を駆使して石炭を運び、我が国を支えた日本海沿岸の地。
その地で、最新の交通インフラとエネルギーインフラを巡る～

申込み期限8/16



後志自動車道
余市IC～小樽JCT間新設工事



石狩湾新港(火力発電所)



石狩湾新港(LNG基地)

日時： 8月29日(水)12:45集合 13:00出発(北海道大学(工学部前))
～17:30解散(北海道大学(工学部前))

見学先：①余市IC～小樽JCT間新設工事～②石狩湾新港(火力発電所、LNG基地)

参加費：2,000円(保険・税込み)

定員：40名

コース概要：

日本海沿岸は、かつて空知の炭鉱から小樽までの列車が走り、小樽港から石炭が積み出され、これらのインフラが、北海道の経済と我が国のエネルギーを支えてきました。

本ツアーでは、これまで北海道の物流とエネルギーを支えてきたインフラが立地した北海道日本海沿岸において、最新の交通インフラ(高規格道路)とエネルギーインフラ(LNG火力発電所)を見学します。

II. 1日コース ～生命の維持に不可欠な水を人々に届けるインフラ、
産業と暮らしを支えるインフラ、そして、土木技術の昔と今を知る～

申込み期限8/16



豊平川水道水源水質保全事業



王子製紙千歳第1発電所



苫小牧港(西港区)

日時： 8月31日(金)8:15集合 8:30出発(北海道大学(工学部前))
～17:30解散(北海道大学(工学部前))

見学先：①豊平川水道水源水質保全事業～②王子製紙千歳第1発電所～③苫小牧港(西港区)

～④国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所研究施設

参加費：2,500円(保険・税込み、昼食代含まず) **3,500円から2,500円に値下げしました。**
20名様限定の希少な見学会です。この機会に是非ご参加ください！

定員：20名

コース概要：

・【前半】水は、人の生命の維持は言うまでもなく、エネルギー(電力)の生産にも活用されています。

本ツアーの前半で、飲料水を供給するための最新の土木技術と、発電のための歴史的土木技術を見学します。

・【後半】製紙業は、長きに亘り、北海道の産業の発展と我が国の紙の自給を支えてきています。

大規模な製紙業では、豊富な水、電力、そして、原料の輸入や製品の移出のための物流拠点(港湾)が必要です。本ツアーの後半では、前半で見学した発電施設に引き続き、製紙業等の産業に不可欠な物流拠点である港湾を見学します。

ツアーの締めくくりには、北海道の150年を支えてきた土木技術を常に最先端で研究してきた研究所の施設を見学します。

■■申込み・詳細はこちらより！！■■
<http://jsce.or.jp/taikai2018/>

